

プレスリリース

米国 BioLabs 社とインキュベーション事業で事業提携

～BioLabs 社アジア初の事業拠点を川崎に～

- 公益財団法人川崎市産業振興財団は、川崎市殿町キングスカイフロントにあるナノ医療イノベーションセンター（iCONM）内にインキュベーション施設 iCONM in Collaboration with BioLabs（BioLabs 連携サイト iCONM インキュベーター）をオープン。6月6日より施設利用企業の募集を開始。
- 事業運営に関し、米国内に11拠点のほか、ドイツ、フランスにも拠点を持つ、グローバルトップインキュベーター BioLabs（バイオラボ）社と事業提携で合意。
- バイオラボ社との連携により、殿町キングスカイフロントにおけるイノベーションエコシステムのグローバル化と、インバウンドスタートアップの促進を期待。

報道関係者 各位

日頃は大変お世話になりましてありがとうございます。

公益財団法人川崎市産業振興財団（理事長：三浦 淳、所在地：川崎市幸区堀川町、略称：KIIP）では、川崎殿町キングスカイフロントにあるナノ医療イノベーションセンター（iCONM）内にライフサイエンス分野のシード・アーリー期のスタートアップを支援する iCONM in collaboration with BioLabs 事業を開始し、利用者の募集を6月6日に開始致します。本事業に際し、米国内に11拠点の他にドイツ、フランスにも拠点を持つバイオ領域のグローバルトップインキュベーターであるバイオラボ社と事業連携協定を締結することで合意致しました。同社にとっては、アジア初のシェアラボ連携拠点となります。募集要項は、以下の URL から御覧頂けます。

<https://iconm-service.kawasaki-net.ne.jp/>

本事業の拠点となる iCONM は、2013 年に開始した文科省/JST のセンターオブイノベーション (COI) プログラムで培われた研究開発支援体制に強みがあります。その施設は有機合成～生化学実験～薬理実験に加え、ナノサイズでの材料加工ができる工作室やプロトタイプの医療精密機器の製造に必要なクリーンルームを備え、ライフサイエンス系の研究をハイスペックで一気通貫に実施する最先端の研究機器と設備が整っています。また、高度な研究設備だけでなく、施設を管理・運営し、実験機器を管理する体制も整っています。ここに、世界的にも高い実績と経験を持つグローバ

ルインキュベーターであるバイオラボ社と事業連携協定を結ぶことで、施設を利用するスタートアップは自らの事業に専念できる環境で、グローバルにも事業開発を展開できる機会を手にすることができるようになります。

事業連携協定の契約には、主な点として以下の内容が含まれています。

- 1、本事業における入居企業選定委員会にはバイオラボ社が参画
- 2、バイオラボ社のグローバルネットワークを活用したセミナー・ピッチイベントの共催
- 3、本事業入居企業は全てのバイオラボ社オンラインイベントへの参加が可能
- 4、米国バイオラボ社の拠点でインキュベーションマネージャーのオンサイトトレーニングの実施
- 5、バイオラボ社は iCONM in collaboration with BioLabs 事業の運営を支援

6/6 午後2時から開催された記念セレモニーでは、バイオラボ社 CEO の Johannes Fruehauf (ヨハネス・フルハーフ) 氏、公益財団法人川崎市産業振興財団の三浦 淳理事長のほか、川崎市の福田紀彦市長、iCONM の片岡一則センター長、当インキュベーション事業実務責任者の厚見宙志サイトディレクターも登壇し以下のように述べました。

三浦 淳 公益財団法人川崎市産業振興財団理事長：



「本事業連携により、川崎市産業振興財団は新しい大きな一歩を踏み出します。当財団が運営する iCONM と世界のイノベーションエコシステムが繋がり、新しい社会を切り拓くバイオテックスタートアップを川崎で支援することで、将来、モデルナのようなスタートアップがここから生まれることを期待しています。本事業の実現に際してお世話になりました文部科学省、JST をはじめ関係者の皆さまには厚く御礼申し上げます。」

ヨハネス・フルハーフ バイオラボ社 CEO：



「By working together to support Japanese start-ups and the innovation ecosystem, BioLabs expects iCONM to become a magnet for world-class biotech companies. In addition, I believe our collaboration will have significant impact on Kawasaki by stimulating job growth and continuing to build a vibrant innovation community. We hope our collaboration helps to accelerate the start-up ecosystem in Japan.」

(以下和訳)

「私たちは日本のスタートアップやイノベーションエコシステム支援を共に行っていきます。iCONM はイノベーションを支援する設計となっているので、世界クラスのバイオテックスタートアップが集まるマグネットとなると、私は考えています。さらに、本連携が川崎市に与える影響は非常に大きいものになるに違いありません。例えば、雇用を創出し、活気にあふれたコミュニティを形成するでしょう。この連携が日本のスタートアップエコシステムを加速させる一助となることを願っております。」

福田紀彦 川崎市長



「キングスカイフロントが成長し、世界とつながりたいという時宜を得たタイミングで、最高のパートナーである BioLabs 社との連携が実現しました。川崎が世界とつながるだけでなく、世界が川崎とつながるという双方向な連携ができていくことにわくわくしています。ここから生まれたスタートアップが成長した際には、川崎市内、それから大田区側を含めた多摩川両岸がグラデュエーションエリアとしてしっかりと受け止めていくことが、私たちのまちの発展、そして国の発展につながると考えています。」

片岡一則 iCONM センター長



「iCONM には最先端の研究機器や、精密加工から有機合成、薬理試験まで可能な研究室が揃い、それらを管理する専属のスタッフや委員会があります。更には、企業での経験豊富な人材が知財や広報など社会実装に必要な支援を行う体制が整っています。これら、文科省・JST にご支援頂いたセンター・オブ・イノベーションプロジェクト (COINS) で培った財産を大いに活用して頂き、バイオラボ社が持つ経験豊富なノウハウのもと、スタートアップ各社の成長に貢献できればと思います。」

厚見宙志 川崎市産業振興財団インキュベーション事業推進室サイトディレクター：



「本連携によって、川崎市産業振興財団とバイオラボ社のノウハウを融合させ、私たちは新たなイノベーションを狙います。グローバルにスタートアップが活躍しやすい環境を、自治体を基盤としたナノ医療イノベーションセンターに整備することで、日本のエコシステム基盤を川崎市と連携して構築する極めてユニークな取り組みです。本連携が、日本のイノベーションを加速させ、エコシステムのグローバル化を期待しています。」

本事業のグローバル展開は、国内における本格的なイノベーションエコシステムの構築とグローバル市場との人材、技術、ファンドの交流にも繋がるもので、更には今後の成長が期待されるアジア市場への起点ともなります。引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い致します。

公益財団法人川崎市産業振興財団について

産業の空洞化と需要構造の変化に対処する目的で、川崎市の 100%出捐により昭和 63 年に設立されました。市場開拓、研究開発型企業への脱皮、それを支える技術力の養成、人材の育成、市場ニーズの把握等をより高次を実現するため、川崎市産業振興会館の機能を活用し、地域産業情報の交流促進、研究開発機構の創設による技術の高度化と企業交流、研修会等による創造性豊かな人材の育成、展示事業による販路拡大等の事業を推進し、地域経済の活性化に寄与しています。

<https://www.kawasaki-net.ne.jp/>

ナノ医療イノベーションセンターについて

ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) は、キングスカイフロントにおけるライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、川崎市の依頼により、公益財団法人川崎市産業振興財団が、事業者兼提案者として国の施策を活用し、平成 27 年 4 月より運営を開始しました。有機合成・微細加工から前臨床試験までの研究開発を一気通貫で行うことが可能な最先端の設備と実験機器を備え、産学官・医工連携によるオープンイノベーションを推進することを目的に設計された、世界でも類を見ない非常にユニークな研究施設です。

<https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/>

iCONM in collaboration with BioLabs 事業について

公益財団法人川崎市産業振興財団はナノ医療イノベーションセンター (iCONM) において、シード・アーリー期ライフサイエンス分野のスタートアップを支援するインキュベーション事業を行います。iCONM は研究設備が整備されているだけでなく、研究開発を支援する体制が充実しており、事業の加速を支援します。施設内はイノベーションが生み出されやすい空間設計やコミュニケーションスペースが多く設けられており、公益財団法人川崎市産業振興財団の長年の中小企業支援事業のノウハウは入居企業の事業をさらに支援します。今回の事業連携により、iCONM in collaboration with BioLabs に入居するスタートアップは、バイオラボ社のネットワークを利用してグローバルに事業展開できる機会を得ることができるようになります。本事業は、ライフサイエンス分野の革新的な技術で新しい社会を切り開こうとするスタートアップを支援・伴走します。

<https://iconm-service.kawasaki-net.ne.jp/>

BioLabs (バイオラボ) 社について

バイオラボ社は、科学を基盤とするスタートアップのための絶対的な成長パートナーであり、企業が科学の進歩を加速させ、ビジネスを成長させ、世界に永続的な影響を与えることを支援します。バイオラボは、クラス最高のラボスペース、必要不可欠なビジネスサービス、「実際に行ってみた」見識を提供するイノベーターやガイドの強力なネットワーク、バイオテクノロジー企業の成長における複雑な運営を通して創業者を導く比類のない経験を持つサイトチームなどを提供し、この領域でのエコシステムに大きな違いを生み出しています。現在、北米の主要なイノベーション拠点に 11 のバイオラボ・センターがあり、ハイデルベルクは欧州初のラボ拠点で、2022 年以降にフランスでも複数の拠点が計画されています。また、アジア初のシェアラボ連携拠点を川崎で令和 4 年 6 月より開始します。

<https://www.biolabs.io/>

Twitter (@BioLabsHQ)

LinkedIn:

令和4年6月6日